

丸協にゆーす

- 事務所紹介 『共配山陰』
- 今、知っておきたい物流topics

『2022国際物流総合展、

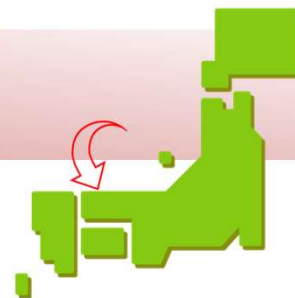
キーワードは「ロボットとAGVの融合」』



事業所紹介 『共配山陰』



2022.9 丸協にゆーす



共配山陰の皆さんに質問！

- ①担当している仕事内容
- ②営業所自慢
- ③最近ハマっていること

石平係長

- ①事務
- ②皆穏やかで仲が良い
- ③韓国ドラマ

大屋社員

- ①事務
- ②和やかな雰囲気の仕事がしやすい
- ③子供のサッカー観戦、ハンドメイドのピアス作り

石倉社員

- ①事務
- ②事務所内の雰囲気が良く、楽しく仕事ができる
- ③カスピ海ヨーグルトを食べること



岩田主任

- ①配車
- ②仲良し
- ③バレーボール、寝る事

藤井所長

- ①事務所管理、事務
- ②和気あいあい
- ③バイクツーリング

村上係長

- ①配車・衛生管理
- ②平和



今、知っておきたい物流topics

2022国際物流総合展、キーワードは「ロボットとAGVの融合」

東京では4年ぶりとなる、2022国際物流総合展に行ってきました（9.13～16、於 東京ビッグサイト）。自動化、ロボティクスがまさに花盛りですが、以前に比べてコンベアや自動倉庫を配した大掛かりな展示は少なくなり、リースペースに作業台とロボットが置かれ、その間をAGVが行き来する光景が多く見受けられました。AGVとロボットが融合することでコンベアが要らなくなり、軽装備の自動化が実現しているわけです。

ロボティクスのトップランナーであるMujin社の今年の展示品は「自動『順立て』混載積み付けシステム」。混載積み付けとは、大きさ・重さの異なるケースを荷崩れや荷物の潰れがないように積むもので、慣れない作業者が積んだパレットはドライバーが積み直すような手戻りもしばしば発生する、熟練を要する作業です。このロボットは以下の手順で自動的に順立てを行い、7～8分の作業で完結させます。

- ① ロボットが1PL分の全てのケースをいったん平面に並べ、その際に各ケースの重さ・サイズを計測する。
- ② ロボットが1PL分の情報が揃ったら積み方を考える（重いものを先にして、なるべく面が揃うように）
- ③ 決めた順に取ってAGV上のPLに積み付けていく。

これまで、同じような作業の自動化には「シャトル」とよばれる小型の自動倉庫が用いられ、億単位の投資が必要でした。Mujinのシステムは「ロボット+AGV」と「1PL分のケースを並べる場所」があれば構築でき、費用も数千万円レベルに抑えられます。ロボットが「人よりも上手に、作業を1回で完結させる」という役立ちをすること、負荷が大きくドライバー待機の原因にもなる作業が改善されることも、興味深いところです。

